

(22) 型枠および支保工の取外しは、コンクリートが 必要な強度に達した後であるか

所定の強度が出る前に、型枠や支保工を取り外すと、自重などの荷重を支えられないため、ひび割れやたわみが生じます。コンクリートが自重および施工期間中に加わる荷重を受けるのに必要な強度に達するまで、型枠および支保工は取り外してはいけません。

コンクリート標準示方書では、以下のように参考値を定めています。

型枠・支保工の取外しに必要なコンクリートの圧縮強度

部位 (例)	必要な圧縮強度
フーチング側面	3.5 N/mm ²
柱、壁、はりの側面	5.0 N/mm ²
スラブ、はりの底面、アーチの内面	14.0 N/mm ²